

(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)登録番号
実用新案登録第3240044号
(U3240044)

(45)発行日 令和4年12月2日(2022.12.2)

(24)登録日 令和4年11月24日(2022.11.24)

(51)国際特許分類

B 4 2 F 7/00 (2006.01)

F I

B 4 2 F 7/00

D

B 4 2 F 7/00

E

B 4 2 F 7/00

G

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全11頁)

(21)出願番号 実願2022-3299(U2022-3299)

(22)出願日 令和4年10月4日(2022.10.4)

(73)実用新案権者 000106885

シグマ紙業株式会社

大阪府大阪市西淀川区御幣島5丁目12

番24号

(74)代理人

110000947弁理士法人あーく事務所

(72)考案者

井上 幸司

大阪府大阪市西淀川区御幣島5丁目12

番24号 シグマ紙業株式会社内

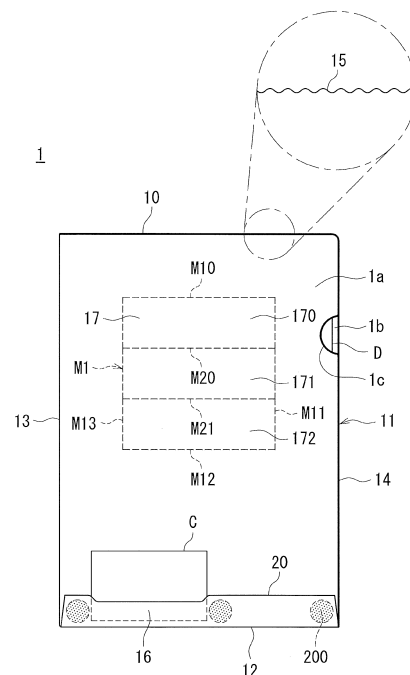
(54)【考案の名称】 紙製ファイル

(57)【要約】

【課題】販促活動に適した紙製ファイルを提供する。

【解決手段】表面部1a、裏面部1b及び4つの外周辺部（上辺部10、右辺部11、下辺部12及び左辺部13）を有し、外周辺部のうち1つの外周辺部又は隣り合う2つの外周辺部が内容物Dの出し入れ口として開放された紙製ファイル1であって、表面部1aには、内容物Dの一部を露出させる窓部を形成可能な窓形成領域17が、破断可能な第1ミシン目M1により画成され、第1ミシン目M1を破断して窓形成領域17を開口させることで窓部が形成され、表面部1a側には、カード状物Cを保持可能なポケット部16が設けられている。

【選択図】図1



10

20

【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

表裏面部及び 4 つの外周辺部を有し、該外周辺部のうち 1 つの外周辺部又は隣り合う 2 つの外周辺部が内容物の出し入れ口として開放された紙製ファイルであって、

前記表面部には、前記内容物の一部を露出させる窓部を形成可能な窓形成領域が、破断可能な第 1 ミシン目により画成され、該第 1 ミシン目を破断して該窓形成領域を開口させることで該窓部が形成され、

前記表面部側には、カード状物を保持可能なポケット部が設けられたことを特徴とする紙製ファイル。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の紙製ファイルであって、

1 枚のブランクシートから組み立てられ、

前記ブランクシートには、

前記表面部を形成する表面板と、

前記表面板の側縁に縦方向の縦折罫線を介して連設され前記裏面部を形成する裏面板と

、
前記裏面板の下縁に横方向の横折罫線を介して連設され前記ポケット部を形成するポケット片板と、が設けられ、

前記ポケット片板の裏側には、前記表面板の表側に糊付けされる糊付領域と、前記カード状物の幅相当の幅を有する非糊付領域とが並設されたことを特徴とする紙製ファイル。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の紙製ファイルであって、

前記窓形成領域内には、該窓形成領域を複数の小窓形成領域に区画する破断可能な第 2 ミシン目がさらに設けられたことを特徴とする紙製ファイル。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の紙製ファイルであって、

前記出し入れ口として開放された前記外周辺部の開放縁は、波刃状に形成されたことを特徴とする紙製ファイル。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本開示は、書類等の内容物を出し入れ可能に収容する紙製ファイルに関する。

【背景技術】**【0002】**

書類等の内容物を出し入れ可能に収容するファイルとして、紙材料で構成された紙製ファイルが公知である（例えば、特許文献 1、特許文献 2 参照）。このような紙製ファイルは、プラスチックと比較して環境負荷が小さく、リサイクルが容易であることから、近年環境問題に対する意識が高まるにつれて、その需要が高まっている。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】 実用新案登録第 3 1 8 1 6 1 3 号公報

【特許文献 2】 実用新案登録第 3 2 3 7 8 6 0 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

上記のような紙製ファイルは、企業の営業資料の頒布等を含む販売促進（販促）活動に活用可能である。プラスチック製ファイルに代えて上記のような紙製ファイルを販促活動に活用することで、企業の環境意識の高さをアピールすることができ、ひいては企業のイメージアップを図ることが期待できる。

10

20

30

40

50

【0005】

しかしながら、上記従来の紙製ファイルは、例えば営業担当者の名刺等を保持するポケット等を備えておらず、販促活動に適したものであるとは言い難かった。また、販促活動では消費者（顧客）の目を引くことが重要視されるところ、従来の紙製ファイルは、表裏面に印刷されるデザインの他に企業が独自性を発揮するためにアレンジし得る要素を備えておらず、アレンジの自由度に乏しいことから、販促活動に適したものであるとは言い難かった。

【0006】

本開示は、上記従来の問題点を解決するためになされたものであり、販促活動に適した紙製ファイルを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記目的を達成するため、本明細書で開示される紙製ファイルは、表裏面部及び4つの外周辺部を有し、該外周辺部のうち1つの外周辺部又は隣り合う2つの外周辺部が内容物の出し入れ口として開放された紙製ファイルであって、前記表面部には、前記内容物の一部を露出させる窓部を形成可能な窓形成領域が、破断可能な第1ミシン目により画成され、該第1ミシン目を破断して該窓形成領域を開口させることで該窓部が形成され、前記表面部側には、カード状物を保持可能なポケット部が設けられたことを特徴とするものである。

【0008】

前記紙製ファイルにおいて、1枚のブランクシートから組み立てられ、前記ブランクシートには、前記表面部を形成する表面板と、前記表面板の側縁に縦方向の縦折罫線を介して連設され前記裏面部を形成する裏面板と、前記裏面板の下縁に横方向の横折罫線を介して連設され前記ポケット部を形成するポケット片板と、が設けられ、前記ポケット片板の裏側には、前記表面板の表側に糊付けされる糊付領域と、前記カード状物の幅相当の幅を有する非糊付領域とが並設されていてもよい。

【0009】

前記紙製ファイルにおいて、前記窓形成領域内には、該窓形成領域を複数の小窓形成領域に区画する破断可能な第2ミシン目がさらに設けられていてもよい。

【0010】

前記紙製ファイルにおいて、前記出し入れ口として開放された前記外周辺部の開放縁は、波刃状に形成されていてもよい。

【考案の効果】

【0011】

本開示によれば、販促活動に適した紙製ファイルを実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図1】本開示の一実施形態における紙製ファイルの正面図である。

【図2】図1の紙製ファイルの後方斜視図である。

【図3】窓形成領域を開口させる過程を説明するための図である。

【図4】紙製ファイルにおいて窓部が形成された状態を示す図である。

【図5】小窓形成領域を開口させる過程を説明するための図である。

【図6】紙製ファイルにおいて第1の小窓部が形成された状態を示す図である。

【図7A】紙製ファイルにおいて第2の小窓部が形成された状態を示す図である。

【図7B】紙製ファイルにおいて第3の小窓部が形成された状態を示す図である。

【図7C】紙製ファイルにおいて第4の小窓部が形成された状態を示す図である。

【図8】図1の紙製ファイルの外面側に印刷画像部を印刷した一例を示す正面図である。

【図9】紙製ファイルの一変形例を示す正面図である。

【図10】本開示の一実施形態におけるブランクシートを裏側から見た展開図である。

【図11】図10のブランクシートから紙製ファイルを組み立てる手順を説明するための

10

20

30

40

50

図である。

【考案を実施するための形態】

【0013】

以下、本開示の実施形態について、添付図面を参照しながら説明する。なお、以下に説明する各実施形態の間で同一の構成要素には同一の符号を付し、それら構成要素について重複する説明は省略する。

【0014】

図1は、本開示の一実施形態における紙製ファイル1の正面図である。図2は、図1の紙製ファイル1の後方斜視図である。図1及び図2において、開放縁14を分かり易くするように太線で示している。図1において、網掛け部分は、ポケット片板20の裏側に設けられた糊付領域200を示している。

10

【0015】

紙製ファイル1は、書類等の内容物Dを出し入れ可能に収容するものであり、例えば、企業の営業資料の頒布等を含む販売促進（販促）活動に活用し得る。

【0016】

紙製ファイル1は、表面部1a、裏面部1b及び4つの外周辺部（上辺部10、右辺部11、下辺部12及び左辺部13）を有している（図1、図2参照）。本実施形態では、上辺部10及び右辺部11が内容物Dの出し入れ口として開放されている。

【0017】

表面部1aの右側縁には、内容物Dの出し入れ口を開放する際に裏面部1bを摘まみやすくするための凹部1cが設けられている。

20

【0018】

本実施形態において、内容物Dの出し入れ口として開放された上辺部10及び右辺部11の開放縁14は、複数の三角形状の凸部15を有する波刃状に形成されている（図1参照）。開放縁14が波刃状に形成されたことにより、ユーザが内容物Dを出し入れ口から取り出す際に開放縁14に手指が触れたとしても、手指の切傷を発生し難くすることができる。

【0019】

表面部1a側には、カード状物C（例えば、名刺、クーポン券等）を保持可能なポケット部16が設けられている（図1参照）。カード状物Cは、ポケット部16内に差し込まれることで保持される。ポケット部16は、裏面部1bの下縁に連設されたポケット片板20が表面部1a側に折り返された状態で表面部1aに糊付けされることで形成される。ポケット片板20の裏側には、表面部1aに糊付けされる糊付領域200が設けられている。

30

【0020】

ポケット部16の深さは、例えば、カード状物Cの高さの3分の1～2分の1程度に設定されている。このため、カード状物Cは、一部が露出した状態でポケット部16により保持される。ポケット部16により保持されたカード状物Cにおいて、露出した部分に記された内容は、紙製ファイル1の外側から視認可能となる。

【0021】

このようなポケット部16が設けられたことにより、販促活動の一助となる名刺、クーポン券等のカード状物Cを紙製ファイル1に容易に添えることが可能となる。

40

【0022】

表面部1aには、内容物Dの一部を露出させる窓部Wを形成可能な窓形成領域17が、破断可能な第1ミシン目M1により画成されている（図1参照）。本実施形態において、窓形成領域17は、四角状に形成されている。従って、第1ミシン目M1は、窓形成領域17の外周縁に沿って、上ミシン目M10、右ミシン目M11、下ミシン目M12及び左ミシン目M13を含む。

【0023】

図3は、窓形成領域17を開口させる過程を説明するための図である。図4は、紙製フ

50

ファイル 1 において窓部 W が形成された状態を示す図である。図 3 において、表紙絵部 P の図示を省略している。図 4 において、斜線部分は、内容物 D の表紙絵部 P を示している。

【 0 0 2 4 】

図 3 に示すように第 1 ミシン目 M 1 を破断して窓形成領域 1 7 を開口させることで、図 4 に示すような窓部 W が形成される。窓部 W を形成することにより、内容物 D の一部、例えば、図 4 に示すような表紙絵部 P を窓部 W に覗かせて消費者（顧客）の目を引くことができる。

【 0 0 2 5 】

このような窓部 W が形成可能な窓形成領域 1 7 が第 1 ミシン目 M 1 により画成されたことにより、販促活動において消費者（顧客）の目を引くために内容物 D の一部を窓部 W に覗かせるというアレンジが可能となることから、紙製ファイル 1 のアレンジの自由度が向上する。

【 0 0 2 6 】

上記のようなポケット部 1 6 によって、販促活動の一助となるカード状物 C を紙製ファイル 1 に容易に添えることが可能となり、さらには、窓形成領域 1 7 及び第 1 ミシン目 M 1 によって、紙製ファイル 1 のアレンジの自由度が向上することから、販促活動に適した紙製ファイル 1 を実現することができる。

【 0 0 2 7 】

本実施形態において、窓形成領域 1 7 内には、窓形成領域 1 7 を複数（本実施形態では、3 つ）の小窓形成領域 1 7 0 ～ 1 7 2 に区画する破断可能な第 2 ミシン目 M 2 0 , M 2 1 がさらに設けられている（図 1 参照）。本実施形態において、第 2 ミシン目 M 2 0 , M 2 1 は、上下方向に間隔を空けて互いに平行に左右方向に延びている。従って、小窓形成領域 1 7 0 ～ 1 7 2 は、それぞれ、左右方向を長手方向とする長方形に形成されており、長辺が隣り合うように上下方向に並んで配されている。

【 0 0 2 8 】

図 5 は、小窓形成領域 1 7 0 を開口させる過程を説明するための図である。図 5 において、表題部 T の図示を省略している。

【 0 0 2 9 】

図 6 は、紙製ファイル 1 において第 1 の小窓部 W 1 が形成された状態を示す図である。図 7 A は、紙製ファイル 1 において第 2 の小窓部 W 2 が形成された状態を示す図である。図 7 B は、紙製ファイル 1 において第 3 の小窓部 W 3 が形成された状態を示す図である。図 7 C は、紙製ファイル 1 において第 4 の小窓部 W 4 が形成された状態を示す図である。図 6 及び図 7 A ～ 図 7 C において、斜線部分は、内容物 D の表題部 T を示している。

【 0 0 3 0 】

図 5 に示すように第 1 ミシン目 M 1 の右ミシン目 M 1 1 及び左ミシン目 M 1 3 の上部、上ミシン目 M 1 0 並びに第 2 ミシン目 M 2 0 を破断して小窓形成領域 1 7 0 を開口させることで図 6 に示すような小窓部 W 1 が形成される。小窓部 W 1 を形成することにより、内容物 D の一部、例えば、図 6 に示すような表題部 T を小窓部 W 1 に覗かせて消費者（顧客）の目を引くことができる。

【 0 0 3 1 】

内容物 D の表題部 T が図 6 に示す位置よりも下に位置していた場合には、小窓形成領域 1 7 0 の下方に位置する小窓形成領域 1 7 1 を開口させることで図 7 A に示すような小窓部 W 2 を形成して、表題部 T を小窓部 W 2 に覗かせることが可能である。小窓部 W 2 は、第 1 ミシン目 M 1 の右ミシン目 M 1 1 及び左ミシン目 M 1 3 の中央部、第 2 ミシン目 M 2 0 並びに第 2 ミシン目 M 2 1 を破断して小窓形成領域 1 7 1 を開口させることで形成される。

【 0 0 3 2 】

内容物 D の表題部 T が図 7 A に示す位置よりもさらに下に位置していた場合には、小窓形成領域 1 7 1 の下方に位置する小窓形成領域 1 7 2 を開口させることで図 7 B に示すような小窓部 W 3 を形成して、表題部 T を小窓部 W 3 に覗かせることが可能である。小窓部

W 3 は、第 1 ミシン目 M 1 の右ミシン目 M 1 1 及び左ミシン目 M 1 3 の下部、下ミシン目 M 1 2 並びに第 2 ミシン目 M 2 1 を破断して小窓形成領域 1 7 2 を開口させることで形成され得る。

【 0 0 3 3 】

さらに、内容物 D の表題部 T が図 6 に示すものよりも大きい場合、小窓形成領域 1 7 0 に加えて小窓形成領域 1 7 1 も開口させることで図 7 C に示すような小窓部 W 4 を形成して、表題部 T を小窓部 W 4 に覗かせることが可能である。小窓部 W 4 の大きさは、小窓部 W 1 及び小窓部 W 2 を足し合わせた大きさと同等である。小窓部 W 4 は、第 1 ミシン目 M 1 の右ミシン目 M 1 1 及び左ミシン目 M 1 3 の上部及び中央部、上ミシン目 M 1 0 並びに第 2 ミシン目 M 2 1 を破断して小窓形成領域 1 7 0 , 1 7 1 を開口させることで形成され得る。

10

【 0 0 3 4 】

上記図 6、図 7 C に示した例のほか、小窓形成領域 1 7 1 , 1 7 2 を開口させることで小窓部 W 5 (図示しない) を形成してもよい。また、小窓形成領域 1 7 0 , 1 7 2 を開口させることで小窓部 W 1 , W 3 をともに形成してもよい。内容物 D の表題部 T の位置、大きさ、デザイン等に応じて、小窓部 W 1 ~ W 5 を選択的に形成することが可能である。

【 0 0 3 5 】

このような小窓形成領域 1 7 0 ~ 1 7 2 が第 2 ミシン目 M 2 0 , M 2 1 により画成されたことにより、内容物 D の表題部 T の位置、大きさ、デザイン等に合わせて小窓部 W 1 ~ W 5 を選択的に形成するというアレンジが可能となることから、紙製ファイル 1 のアレンジの自由度がさらに向上する。

20

【 0 0 3 6 】

図 8 は、図 1 の紙製ファイル 1 の外面側に印刷画像部 P R を印刷した一例を示す正面図である。図 8 において、斜線部分は、印刷画像部 P R を示す。

【 0 0 3 7 】

上記説明した紙製ファイル 1 は、外面側を印刷面として、プリンタ、複合機等を用いて画像等を印刷可能である。例えば、図 8 に示すように、表面部 1 a 及びポケット部 1 6 を含む外表面側の全域に亘って印刷画像部 P R を印刷することで、消費者 (顧客) の目を引くことができる。

【 0 0 3 8 】

30

図 9 は、紙製ファイル 1 の一変形例を示す正面図である。

【 0 0 3 9 】

また、図 9 に示すように、第 1 ミシン目 M 1 に隣接して指掛け穴 1 8 が設けられていてもよい。図 9 に示す例において、指掛け穴 1 8 は、窓形成領域 1 7 の右上角部に設けられている。指掛け穴 1 8 に指を掛けることにより、第 1 ミシン目 M 1 の破断を容易に開始することができる。

【 0 0 4 0 】

同様に、第 2 ミシン目 M 2 0 , M 2 1 に隣接して指掛け穴 1 8 0 , 1 8 1 が設けられていてもよい。図 9 に示す例において、指掛け穴 1 8 0 , 1 8 1 は、小窓形成領域 1 7 1 , 1 7 2 の各右上角部に設けられている。指掛け穴 1 8 0 , 1 8 1 に指を掛けることにより、第 2 ミシン目 M 2 0 , M 2 1 の破断を容易に開始することができる。

40

【 0 0 4 1 】

なお、第 1 ミシン目 M 1 の破断を容易に開始するために、指掛け穴 1 8 に代えて、第 1 ミシン目 M 1 上にスリットが設けられていてもよい。同様に、第 2 ミシン目 M 2 0 , M 2 1 の破断を容易に開始するために、指掛け穴 1 8 0 , 1 8 1 に代えて、第 2 ミシン目 M 2 0 , M 2 1 上にスリットが設けられていてもよい。

【 0 0 4 2 】

なお、紙製ファイル 1 において、例えば、上辺部 1 0 のみが内容物 D の出し入れ口として開放されていてもよい。この場合、紙製ファイル 1 は、ポケット状に形成される。

【 0 0 4 3 】

50

図 10 は、本開示の一実施形態におけるブランクシート 2 を裏側から見た展開図である。図 10 において、一点鎖線は山折り線、破線は谷折り線、網掛け部分は糊付領域 200 を示している。

【0044】

本実施形態において、紙製ファイル 1 は、1 枚のブランクシート 2 から組み立てられる。

【0045】

ブランクシート 2 には、表面部 1a を形成する表面板 2a と、裏面部 1b を形成する裏面板 2b と、ポケット部 16 を形成するポケット片板 20 と、が設けられている（図 10 参照）。裏面板 2b は、表面板 2a の側縁（裏側から見た右側縁）に縦方向の縦折罫線 F1 を介して連設されている。ポケット片板 20 は、裏面板 2b の下縁に横方向の横折罫線 F2 を介して連設されている。ポケット片板 20 の裏側には、表面板 2a の表側に糊付けされる糊付領域 200 と、カード状物 C の幅相当の幅を有する非糊付領域 201 とが並設されている。非糊付領域 201 が設けられたことにより、ポケット片板 20 で形成されたポケット部 16 内へのカード状物 C の差し込みが許容される。

10

【0046】

図 11 は、図 10 のブランクシート 2 から紙製ファイル 1 を組み立てる手順を説明するための図である。

【0047】

上記のブランクシート 2 を用いて、次のように紙製ファイル 1 が組み立てられる。まず、図 11 の矢符 S1 が示すように表面板 2a を縦折罫線 F1 で裏面板 2b 側に折り返す。次に、ポケット片板 20 の裏側における糊付領域 200 に糊を塗布する。図 11 の矢符 S2 が示すようにポケット片板 20 を横折罫線 F2 で表面板 2a 側に折り返して、ポケット片板 20 の裏側を表面板 2a の表側に糊付けする。このようにして、ブランクシート 2 から紙製ファイル 1 が組み立てられる。

20

【0048】

上記のようなブランクシート 2 を用いることにより、1 枚のブランクシートで効率良く紙製ファイル 1 を組み立てることができる。

【0049】

なお、上記に限られず、ポケット部 16 は、ブランクシート 2 とは別体に形成されたポケット状の部品が表面板 2a に貼り付けられることで形成されてもよい。

30

【0050】

上記の実施形態は及び実施例すべての点で例示であって、限定的な解釈の根拠となるものではない。従って、本開示の技術的範囲は、上記の実施形態及び実施例のみによって解釈されるものではなく、実用新案登録請求の範囲の記載に基づいて画定される。また、実用新案登録請求の範囲と均等の意味及び範囲内でのすべての変更が含まれる。

【符号の説明】

【0051】

1	紙製ファイル
1a	表面部
1b	裏面部
10	上辺部
11	右辺部
12	下辺部
13	左辺部
14	開放縁
16	ポケット部
17	窓形成領域
170～172	小窓形成領域
2	ブランクシート

40

50

2 a	表面板
2 b	裏面板
2 0	ポケット片板
2 0 0	糊付領域
2 0 1	非糊付領域
C	カード状物
D	内容物
F 1	縦折罫線
F 2	横折罫線
M 1	第 1 ミシン目
M 2 0	第 2 ミシン目
M 2 1	第 2 ミシン目
W	窓部
W 1 ~ W 5	小窓部

10

20

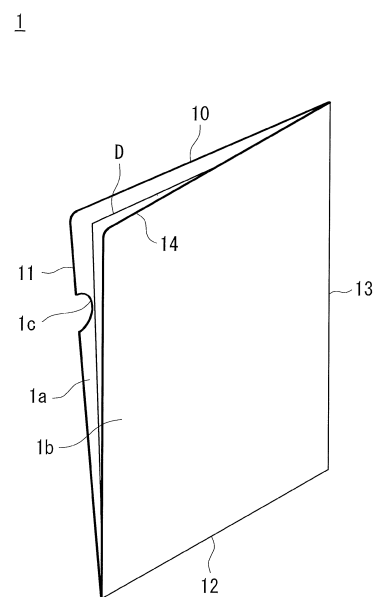
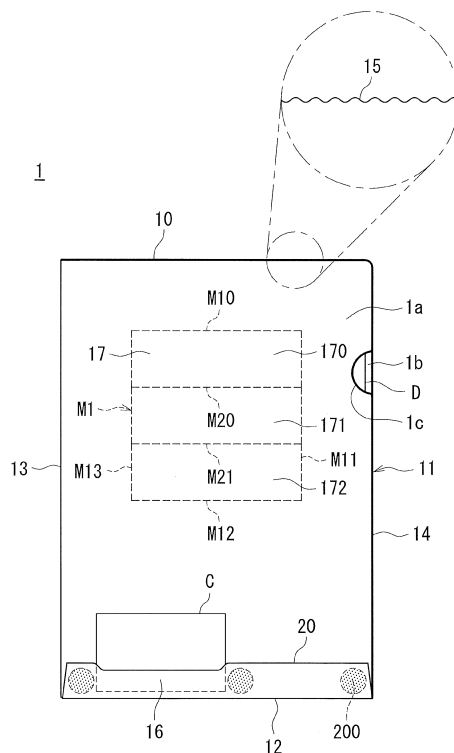
30

40

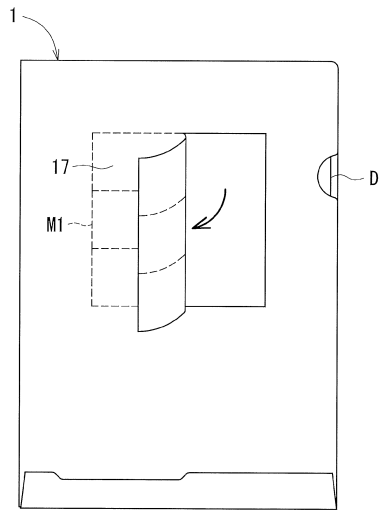
50

【図面】
【図 1】

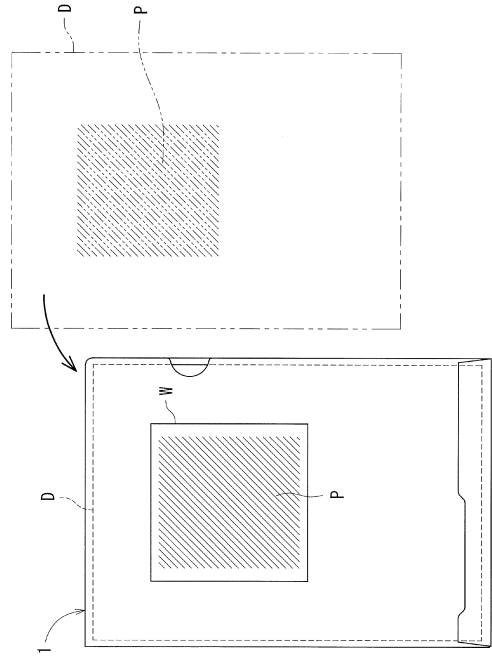
【図 2】



【図 3】



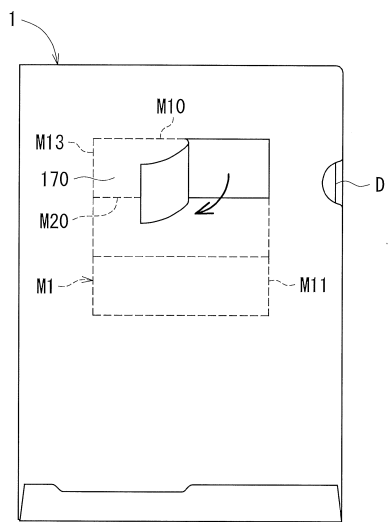
【図 4】



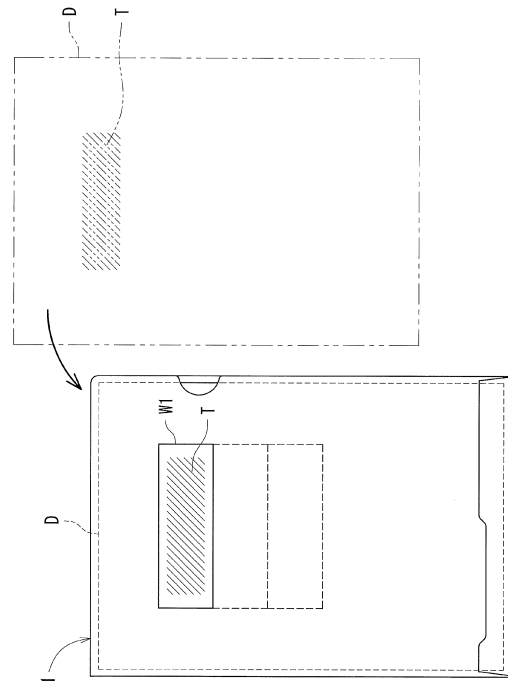
10

20

【図 5】



【図 6】

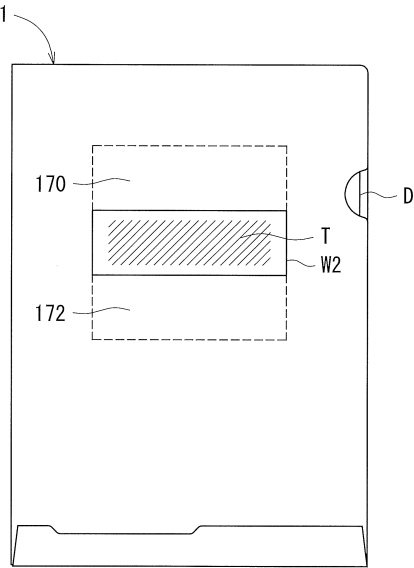


30

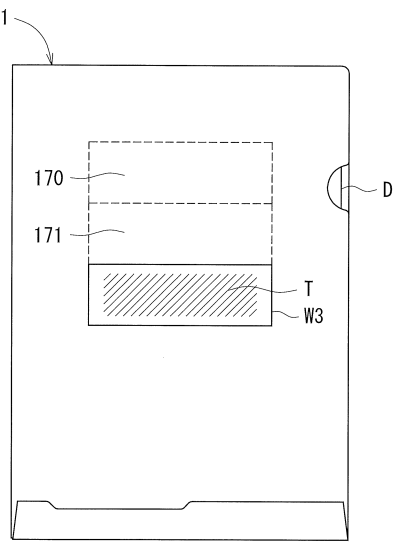
40

50

【図 7 A】

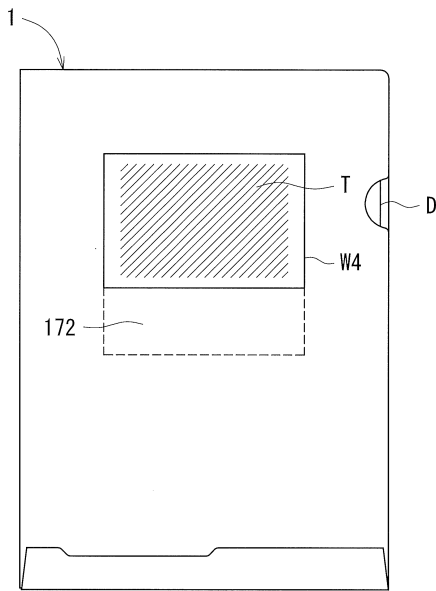


【図 7 B】

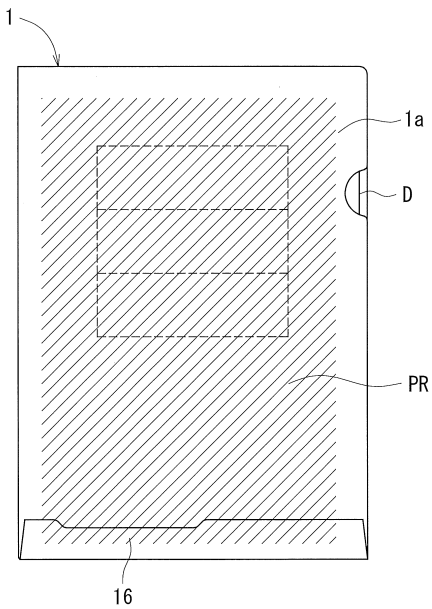


10

【図 7 C】



【図 8】



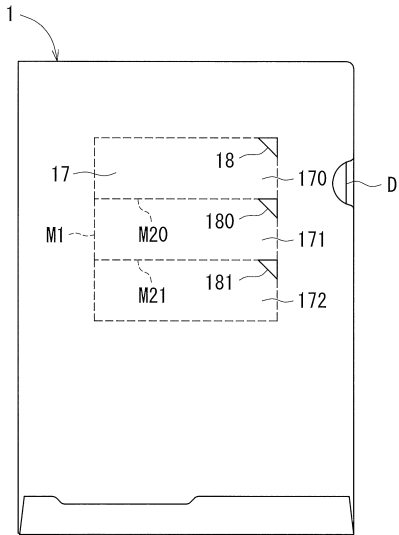
20

30

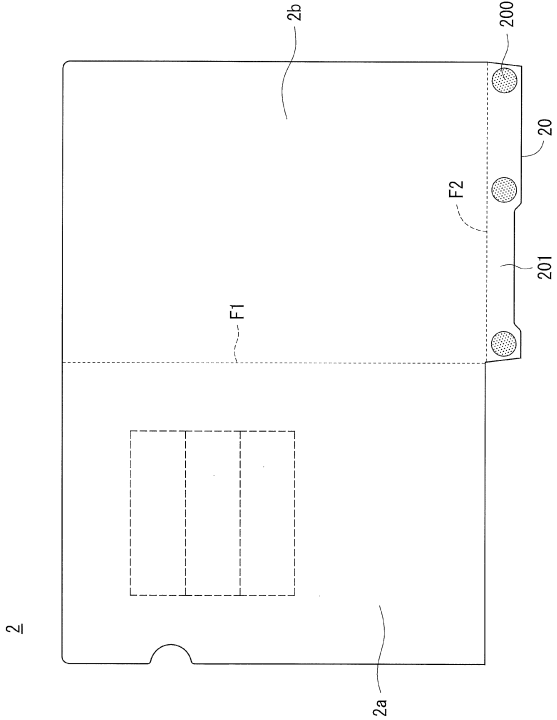
40

50

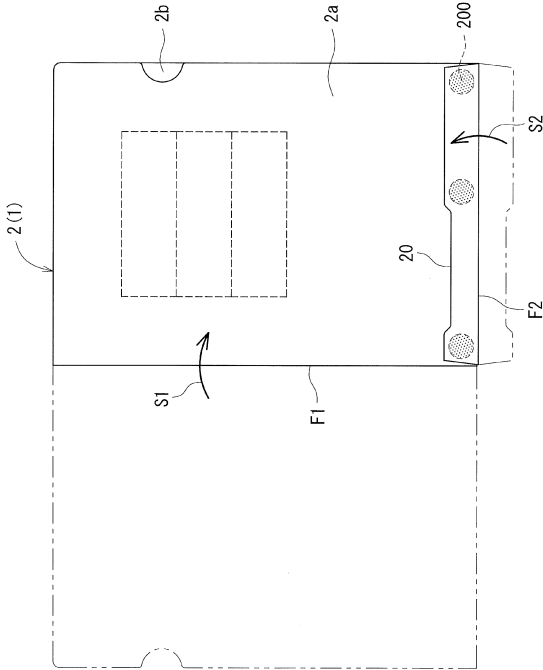
【図 9】



【図 10】



【図 11】



10

20

30

40

50